

# 地域振興県土警察常任委員会資料

(令和元年6月10日)

- 1 鳥取県・鳥取市政策連携懇談会の開催について  
【地域振興課】・・・ 1ページ
- 2 第1回今後の高校教育の在り方を検討する会の開催結果について  
【教育・学術振興課】・・・ 2ページ
- 3 第3回ワールドマスターズゲームズ2021関西 鳥取県実行委員会総会の開催結果について  
【スポーツ課】・・・ 3ページ
- 4 2巡目国体等に係る両県連絡調整会議について  
【スポーツ課】・・・ 4ページ
- 5 グラウンド・ゴルフ国際大会YURIHAMA2019の開催結果について  
【スポーツ課】・・・ 5ページ
- 6 東京2020オリンピック聖火リレー鳥取県実行委員会第2回総会の開催結果について  
【スポーツ課】・・・ 6ページ
- 7 布勢スプリントへのジャマイカ選手出場について  
【スポーツ課】・・・ 7ページ

地 域 振 興 部



# 鳥取県・鳥取市政策連携懇談会の開催について

令和元年6月10日

地域振興課

鳥取市長と鳥取県知事をはじめとする県・市関係幹部職員が一堂に会して、政策課題や対応方針等について共通理解を図り、連携して課題解決に取り組むため、次のとおり意見交換会を開催しました。今後も実務レベルでの協議や取組を進めていくこととしています。

## 1 開催概要

(1) 日時 令和元年5月28日(火)10:00～11:00

(2) 場所 県庁第4応接室

(3) 出席者

【鳥取県】 知事、統轄監、元気づくり総本部長、危機管理局長、地域振興部長、観光交流局長、福祉保健部長、県土整備部長、東部振興監

【鳥取市】 市長、副市長、総務部長、危機管理部長、企画推進部長、福祉部長、経済観光部長、都市整備部長

(4) 議題

- ① 鳥取西道路開通を受けての取組について
- ② 山陰近畿自動車道(南北線)について
- ③ 鳥取駅周辺の賑わい創出について
- ④ 鳥取ー東京(羽田)便の維持、拡大について
- ⑤ 麒麟獅子舞の日本遺産認定について
- ⑥ 中山間地域の生活交通について
- ⑦ 風水害時の防災対策について
- ⑧ 国民健康保険の県内統一保険料の実現について

## 2 主な発言の内容

### 【知事】

○鳥取駅周辺の賑わい創出のためのスクランブル交差点等の課題解決に向けて、鳥取市長、県警本部、商工会議所の会頭、知事などで、少しフランクにトップレベルでの意見交換をする場を、早めにセットした方がいいのかなと思います。

○麒麟獅子舞を、鳥取西道路の観光素材と併せてPR展開していけるのではないかと思います。日本遺産認定ストーリーにおいて、山陰ジオパーク、青谷上寺地遺跡を素材として取り上げ、因幡万葉歴史館を中心にしようとする構造となっており、新しいブームになりうるところなので、麒麟獅子舞の日本遺産認定を地域で活かしていければと思います。

### 【市長】

○山陰近畿自動車道(南北線)につきましても、また一緒になって、事業の推進に我々も努めて参りたいと思っております。

○中山間地域の生活交通について、今年度から大和地区で新しい取組を進めていこうとしております。この試行的な取組が、全県的なひとつのスキームとして展開していけるのではないかと考えております。

## 第1回今後の高校教育の在り方を検討する会の開催結果について

令和元年6月10日

教育・学術振興課

今後、少子化が一層進み教育環境が大きく変化することが見込まれることを踏まえ、県内の公立・私立高校の将来の在り方について、公立・私立高校の関係者が一緒になり、保護者、市町村教育委員会、中学校関係者など幅広く意見を聞き、長期的な観点での検討を行う第1回目の検討会を以下のとおり開催しました。

1 日時 令和元年6月3日(月) 14:00～16:00

2 場所 県庁第33会議室

3 出席委員 13名(欠席3名)

多田憲一郎(鳥取大学地域学部教授)〔座長〕、小川勝(青谷高等学校長)、御船齋紀(倉吉東高等学校長)、永野智之(米子南高等学校長)、足立祥一(米子市立湊山中学校長)、福本希美香(鳥取県PTA協議会理事)、野田修(鳥取家政学園理事長)、岩本恭昌(松柏学院理事長)、横井司朗(鶏鳴学園理事長)、藤井貞宣(湯梨浜学園梨友会会長)、小椋博幸(倉吉市教育委員会教育長)、足羽英樹(県教育委員会教育次長)、広瀬龍一(地域振興部長)

#### 4 会議の概要

初めに事務局から高校教育をめぐる現状について説明を行い、それを踏まえて検討の方向性や検討の視点について意見交換を行いました。

##### 《主な意見》

- 人口最少の鳥取県では、公立だ、私立だと言わず、一緒になって高校教育の課題に取り組まなくてはならない。
- 高校の魅力向上のためには、学校設定科目を活用し、より大胆な発想で高校を地域とつなげる視点が必要ではないか。
- 各高校の特色、特徴的な取組や魅力が中学生やその保護者に十分伝わっていないことから、限られた情報で中学生は進路選択をしており、もっと効果的な方法等を工夫してアピールするべき。
- 今後の教育では、個々の生徒の学力や事情に応じた教育指導がより求められることから、各学校で自己完結させるよりも、他の学校、地域との連携などが必須になると思う。
- 学校の枠、公私の枠を超えて、コンソーシアムのような形でやっていくとか、コミュニティスクール(学校運営協議会制度)の枠組みをもっと柔軟に運用するなどの取組も必要ではないか。

#### 5 今後のスケジュール

- 今年度、あと2回程度開催し、意見等を取りまとめ、教育審議会、私立学校審議会、総合教育会議等に報告することを予定しています。
- 第2回の検討会では、今回いただいたご意見等を幹事会において整理の上、高校教育の在り方についてより具体的に検討を行います。

##### 《参考》

従来から、県教育委員会と全私立高等学校の理事長、校長が参加する公私立高等学校意見交換会を年1、2回開催していますが、保護者、市町村教育委員会などを含め幅広く意見を聞き、より長期的な観点で高校教育の在り方についての検討を行うため、新たに検討会議を設置したものです。

## 第3回ワールドマスターズゲームズ2021 関西 鳥取県実行委員会総会の開催結果について

令和元年6月10日  
スポーツ課

2021年5月に鳥取県を含む関西一円で開催される「ワールドマスターズゲームズ(WMG)2021 関西<sup>(※)</sup>」に向けた取組状況や今後の方針等を話し合うため、競技団体、開催市町、その他関係団体が集まり「第3回 WMG2021 関西 鳥取県実行委員会総会」を開催しました。

(※) この大会は、概ね30歳以上であれば誰でも参加できる世界最大級の一般参加型・国際総合スポーツ大会です。

1. 日時 令和元年5月21日(火) 午後1時30分から2時15分まで

2. 場所 とりぎん文化会館 第3会議室

### 3. 参画団体(参加者)

#### 《自治体：5》

県(平井知事)、湯梨浜町(宮脇町長)、米子市(伊澤副市長)、倉吉市(山崎副市長)、鳥取市(尾室教育長)

#### 《競技団体：4》

県自転車競技連盟(伊藤会長)、県柔道連盟(吉村会長)、県グラウンド・ゴルフ協会(宮脇会長)、県アーチェリー協会(山根理事長)

#### 《スポーツ団体：2》

県体育協会(中永会長)、県障がい者スポーツ協会(福留会長)

#### 《観光経済団体：4》

県観光連盟(岡山専務理事)、県商工会議所連合会(笠見監事)、県旅館ホテル生活衛生同業組合(欠席)、県商工会連合会(欠席)

#### 《その他関係団体：7》 ※下線は新規加盟団体

県バス協会(橋本専務理事)、県ハイヤータクシー協会(橋本専務理事)、JR西日本米子支社(蔭山課長)、智頭急行(城平社長)、県国際交流財団(内田常務理事)、県医師会(岡本次長)、県看護協会(内田会長)

### 4. 内容

- ・議事(平成30年度事業報告・収支決算、令和元年度事業計画(案)・収支予算(案))
- ・意見交換(取組状況、今後の方針等)

### 5. 会議での意見・今後の方向性等

- ・大会組織委員会は、今年11月に募集要項等を発表し、来年2月からエントリーを開始する予定である。
- ・各開催市町実行委員会を中心に、交通・宿泊・観光・交流・おもてなし対応等を含めた受入体制の検討・準備を進める。
- ・大会認知度が低い現状にあるので、開催市町や関係団体と連携しながら、県民向けの広報・機運醸成の取組や参加者層への広報・誘客活動をより一層推進していく。

#### 《参考：WMG2021 関西の大会概要》

・開催期間	2021(令和3)年5月14日(金)～30日(日)(17日間)
・開催場所	鳥取県等を含む関西一円(開会式：京都市、閉会式：大阪市) ※アジアで初開催
・開催競技数	35競技59種目
・参加目標人数	5万人(国内3万人、国外2万人) ※過去最大規模
・県内開催競技	4競技6種目、約3,200人 〔アーチェリー [タゲット、インドア] (鳥取市)、自転車 [トラック、ロード] (倉吉市)、柔道 (米子市)、グラウンド・ゴルフ (湯梨浜町)〕

## 2巡目国体等に係る両県連絡調整会議について

令和元年6月10日  
スポーツ課

平成31年1月の日本スポーツ協会理事会において島根県が2029年、鳥取県が2033年の国体（国民スポーツ大会）の開催申請書提出順序了解県としてそれぞれ決定（いわゆる「内々定」）し、同月に島根県との協力開催のあり方を具体化させていくための両県連絡調整会議を立ち上げたところですが、このたび本年度1回目の同会議を松江市で行いました。

### 《2巡目国体等に係る両県連絡調整会議（令和元年度第1回）》

- 日時 令和元年5月22日（水）午前10時から午前11時40分まで
- 場所 島根県職員会館
- 出席者 【鳥取県】 鳥取県地域振興部 太田 裕司 スポーツ振興監  
鳥取県体育協会 後藤 裕明 専務理事 ほか  
【島根県】 島根県環境生活部 佐藤 正範 スポーツ振興監  
島根県体育協会 安井 克久 専務理事 ほか
- 内容 ①両県知事選後初の会議を開催した。協力開催に向けて引き続き協議していくことを確認した。  
②両県の取組状況・今後取り組むべき事項等について意見交換を行った。
  - ・両県競技施設の現状
  - ・基本理念（国体で何をを目指すのか）策定の進め方
  - ・国体開催に向けた先催事例等の両県での情報共有 等※島根県は本年4月からスポーツ振興課を環境生活部（知事部局）に新設し、スポーツ振興監（次長級）を配置。2巡目国体に向けた業務を担当することとしている。

### 《参考》

#### ○内々定までの動き

- ・平成30（2018）年
  - 10月15日 2033年の2巡目国体招致を県議会全会一致で決議
  - 11月12日 島根・鳥取両県知事協議（協力しながら準備をすすめることを確認）
  - 11月13日 日本スポーツ協会及び文部科学省に国体開催要望書を提出（知事、教育長、県体協会長）
- ・平成31（2019）年
  - 1月15日 両県連絡調整会議の立ち上げ
  - 1月16日 日本スポーツ協会理事会において、島根県（2029年）と鳥取県（2033年）が開催申請書提出順序了解県として決定

#### ○今後の想定スケジュール

- ・令和元（2019）年（14年前）～ 実務者レベルで島根県と協力開催に向けての協議を進める（会場地、人的体制、経費負担等の考え方）

～以降～

- ・令和10（2028）年（5年前） 国民スポーツ大会（国スポ）開催申請書の提出、鳥取国スポの開催内定
- ・令和11（2029）年（4年前） 島根国スポ等の開催
- ・令和12（2030）年（3年前） 鳥取国スポ等の開催決定、国スポ等実行委員会設立
- ・令和15（2033）年 鳥取国スポ等の開催

# グラウンド・ゴルフ国際大会 YURIHAMA2019 の開催結果について

令和元年6月10日  
スポーツ課

グラウンド・ゴルフの聖地化、海外普及の一環として、5月24日・25日に「グラウンド・ゴルフ国際大会YURIHAMA2019」を開催し、海外からの参加者を含め会場は熱気につつまれました。

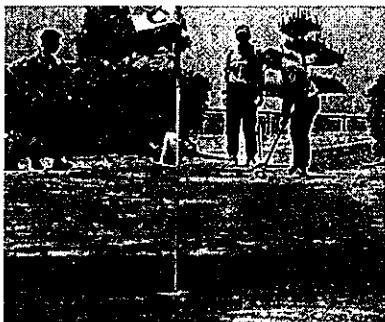
## 1 概要

- |          |                                                                                                                                                                                                 |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) 期 日  | 令和元年5月24日(金)・25日(土)                                                                                                                                                                             |
| (2) 会 場  | 潮風の丘とまり                                                                                                                                                                                         |
| (3) 主 催  | グラウンド・ゴルフ国際大会実行委員会<br>(鳥取県・湯梨浜町・湯梨浜町グラウンド・ゴルフ協会 他)                                                                                                                                              |
| (4) 参加人数 | 317名/13カ国・地域<br>《内訳》 留学生含む<br>韓国(96)、モンゴル(24)、マレーシア(10)、中国(19)、台湾(7)、<br>ポーランド(6)、アメリカ(3)、スリランカ(1)、その他(6)、日本(145)                                                                               |
| (5) その 他 | ・外国籍、日本国籍に分けて個人順位を決める方式で開催した。<br>・大会前日の5月23日(木)には、実行委員会主催の「参加者交流会」を国民<br>宿舎水明荘で開催し、9カ国約200人が参加した。<br>・大会後に開催した参加国代表者会議(9カ国参加)において、本県で開催する<br>ワールドマスターズゲームズ(WMG)2021関西グラウンド・ゴルフ競技<br>への参加PRを行った。 |



## 2 参加者の声

- ・いたれりつくせりの対応をしてくださり感謝。韓国の方(2人)と一緒に4ラウンドプレーできて楽しかった。(日本60代)
- ・初めての国際大会参加なので、言葉の通じない事を心配していたが、ジェスチャーや片言の英語で通じるもので楽しくプレーできた。また次回も参加したい。(日本70代)
- ・すべて良かった。たくさんのことを学べた。ありがとうございました。(韓国からの参加者)
- ・天候がよく、景色がとてもきれいでいい場所だと思った。お茶が各コースに用意しており、熱中症の対策も考えられていると思った。また参加したい。(日本50代)



## 3 聖地化に向けての国際的な広がり

- ・参加者数、参加国数、海外からの参加者数いずれも過去最多となり、昨年WMGのPR活動を行ったマレーシアが初参加するなど、徐々にではあるが国際的な広がりが見られた。
- ・参加国代表者会議では国際組織の立上げについても話が行われ、今後の更なる広がりにも寄与するものと期待される。

令和元年 6 月 10 日  
ス ポ ー ツ 課

東京オリンピック競技大会の聖火リレーについて、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会と協力して、鳥取県内でのオリンピック聖火リレーを実施するために必要な準備及び実施運営を行う「東京 2020 オリンピック聖火リレー鳥取県実行委員会」第 2 回総会を開催し、県内ルート案等について、承認されました。

- 1 日 時 6 月 1 日 (土) 午後 4 時～4 時 40 分
- 2 場 所 ホテルニューオータニ鳥取・2 階「はまなすの間」
- 3 出席者 鳥取県 (平井知事)、鳥取県教育委員会 (山本教育長)、鳥取県町村会 (森安会長)  
公益財団法人鳥取県体育協会 (中永会長)  
鳥取県警察本部 (佐野本部長 ※代理：警備二課桑田課長)  
一般社団法人鳥取県障がい者スポーツ協会 (福留会長 ※代理：松田事務局長)  
公益社団法人鳥取県観光連盟 (中島会長 ※代理：岡山専務理事)  
※鳥取県市長会の深澤会長は欠席。
- 4 議 事 オリンピックの聖火リレー県内ルート、ランナー選出計画、パラリンピック聖火リレー「聖火フェスティバル」実施概要、その他規約改正、事業計画・収支予算等

5 概 要

- (1) オリンピック聖火リレーの県内ルート案等について  
聖火リレーの県内ルート案 (通過市町村等) やランナー選出計画、規約改正案、今年度事業計画・予算案等について承認された

①東京 2020 オリンピック聖火リレーの鳥取県での実施概要

- ・実施日 2020 年 5 月 22 日～23 日  
(全国での実施期間 3 月 26 日～7 月 24 日までの 121 日)
- ・県内ルート概要 (予定) 全 19 市町村を通過

日 時	通過市町村	セレブレーション会場
【1 日目】 5/22 (金)	境港市、日吉津村、米子市、南部町、日南町、日野町、江府町、伯耆町、大山町、倉吉市	倉吉市営ラグビー場
【2 日目】 5/23 (土)	琴浦町、北栄町、三朝町、湯梨浜町、岩美町、八頭町、若桜町、智頭町、鳥取市	コカ・コーラボトラーズジャパンスポーツパーク布勢総合運動公園・球技場

※通過市町村順等は変更になる可能性あり。詳細ルートは市町村等と調整中で今年冬頃公表予定。

・主な見どころ

県を代表する観光地や名所等 (鳥取砂丘や温泉街)、大山を眺望できるルート、歴史的風情の残る旧街道や宿場町、まんが王国鳥取 (水木しげるロード・コナン通り)

②東京 2020 オリンピック聖火リレーランナー選出計画

- ・県実行委員会での選出枠数：44 名 (1 日あたり 22 名)。※うち 23 名を公募予定。
- ・県実行委員会でのランナー選出計画

選出者 (枠)	区 分	選出数	備 考
県実行委員会 (2)	PRランナー グループランナー	2 名	
市町村 (42)	市町村公募ランナー	23 名	4 市 (各 2 名)、15 町村 (各 1 名)
	市町村推薦ランナー	19 名	各 1 名
	合計	44 名	【推薦】21 名【公募】23 名

・ランナー選定について

市町村は候補者を選出し、県実行委員会へ提出。県実行委員会ランナー選考部会で調整後、組織委員会の承認を得て最終決定となる。ランナー決定は 12 月頃の予定。

・県実行委員会でのランナー公募方法

公募期間 7 月 1 日～8 月 31 日 (※各都道府県共通)

公募方法 県実行委員会 WEB ページやポスター等で PR。応募窓口は県及び各市町村 (郵送・メール、持参等により受付予定)

③パラリンピック聖火リレー「聖火フェスティバル」の鳥取県での実施概要

- ・実施期間：2020 年 8 月 13 日～17 日 (5 日間)
- ・実施内容：「聖火フェスティバル」(採火式、聖火ピジット、出立式)を全市町村において、何らかの形で実施していただく方向で今後調整する。

(2) 聖火リレー実施に向けた関係機関との連携・協力、機運醸成について

市町村や関係団体と協力体制を築き、実施に向けた準備を進めていくほか、鳥取らしい盛り上げ策で県全体の機運醸成を図っていくことを確認した。



ジャマイカ陸上競技連盟と鳥取陸上競技協会の友好交流の一環として、ジャマイカ陸上競技連盟ウォーレン・ブレイク会長を団長とする訪問団が来県し、6月2日（日）に開催された陸上競技の日本グランプリシリーズ鳥取大会「布勢スプリント2019」に出場したほか、県内の高校生らと交流を深めました。

1 来県団

氏名	性別	年齢	備考
ウォーレン ブレイク（団長）	男性	65歳	ジャマイカ陸上競技連盟 会長
ガス・ゲイル	男性	56歳	ジャマイカ陸上競技連盟 専務理事
デイビッド・ライリー	男性	46歳	ジャマイカ陸上競技コーチ協会 会長
ラジェ・モリス	男性	17歳	グランプリ男子100m出場選手
サシキア・スティール	女性	16歳	グランプリ女子100m出場選手

※出場選手2名は、ジャマイカで毎年開催される19歳以下の陸上競技大会「チャンプス」で優秀な成績を収めた高校生選手。チャンプスはジャマイカ最大の陸上競技の祭典で、毎年3万5千人もの観客が詰めかけ、好成績を残せば世界中から注目が集まる若きアスリートの登竜門となる大会。ウサイン・ボルト選手も出場した経歴がある。

2 布勢スプリントの競技結果

- ラジェ・モリス選手（グランプリ男子100m）  
予選10秒63（予選1組7着）※決勝進出ならず。
- サシキア・スティール選手（グランプリ女子100m）  
予選11秒89（予選1組2着）  
決勝11秒82（A決勝5位）



3 知事との面談

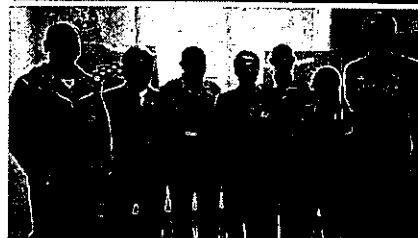
日時：6月2日（日）15:25～15:40

場所：布勢陸上競技場 小会議室

参加者：ジャマイカ来県団、平井知事、鳥取陸上競技協会 浜崎会長

【ブレイク会長のコメント】

- ・鳥取県の皆様のおかげでおもてなしと我々に対する熱い思いに、いつも感激しており、来県の度に関係が深まっているのを実感する。
- ・2015年世界陸上北京大会でジャマイカは過去最多のメダルを獲得したが、これは鳥取での事前キャンプのおかげ。2020年も同様の結果を期待しており、文化の違いを超えて、鳥取とジャマイカの関係が永久に続くことを願っている。



4 県内高校生との交流

6月1日（金）鳥取湖陵高校との交流（蒸しパン作り・抹茶体験、吟詠剣詩舞部との交流）

6月2日（土）鳥取城北高校との交流（相撲稽古の見学、トレーニング室の視察）



5 選手のコメント

- モリス選手：桐生祥秀選手と並んで走るのはとても緊張したが、この経験に心から感謝している。相撲を生で見るのは初めてで興奮した。布勢のトラックはゴムの感触が印象的だった。2020年東京五輪に出られるよう、これからも練習に励みたい。
- スティール選手：鳥取との交流事業に参加する機会をいただいたことに心から感謝している。布勢のトラックは柔らかくて走りやすかった。世古和選手と話したが、27歳という年齢でも第一線で活躍していることにとっても驚き、大きな励みになった。自分も100mの素晴らしい選手になれるよう頑張る。

6 今後のジャマイカとの交流

2020年事前キャンプに関する具体的な協議・調整を進めるとともに、更なる交流発展を図る。

